



自宅の防犯&火災安全

Fact Sheet 22 – Community Risk Management. Revised 1/11/2005

事実

NSW 州では毎年、防犯対策が原因で住宅火災から避難するときに困る人がいます。中には、逃げ遅れて命を落とす人さえいます。そこで、私たちは、防犯対策と火災安全対策のバランスをとることを提言します。侵入者を締め出すことは確かに重要ですが、火災のときにあなた自身と家族が家の中に閉じ込められないようにすることもまた重要なのです。

どのようなレベルの防犯対策を施すにしても、侵入者によるリスクを査定するときは特に慎重を期し、火災発生時に家族が計画的かつ安全に避難する方法も考慮に入れた対策を立てることを推奨します。

火災の際の避難手順に影響を与える防犯対策には以下のようなものがあります：

- 外扉に設置されたデッドロック（本締錠）や複数の鍵
- 窓や防犯用の網戸に取り付けられた防犯格子
- 窓に取り付けられた鍵やロールシャッター

自宅の防火対策に含むべき項目：

- すべての家や住宅ユニットに、認可された煙警報機（AS3786）を取り付け、定期的に作動点検すること
- 自宅のすべての階に煙警報機を設置すること
- すべての部屋から安全に避難する2通りの方法を知っておくこと—わずか一秒が命取りになることを忘れずに
- 避難計画を紙に描き、家族と話し合い、訓練すること
- 必要なときすぐに窓やドアを開けられるようにすること
- すべての施錠されたドアの鍵は、避難時にすぐ持っていけるように準備しておくこと
- 身体的障害や高齢に帰する身体虚弱という要素は、住宅火災に巻き込まれた際、その人の生存能力に大きな影響を及ぼすということ覚えておくこと

自宅を火災から守るために、他に何ができますか？

- 子ども、アルコール飲用者、薬物使用者のように眠りの深い人は、警報機の音では目を覚まさないかもしれません。避難計画には、このような事態の可能性も必ず事前に考慮しておきましょう。
- その他の防火情報については、他のファクトシートを参照してください。

協力： **NSW 州消防庁、NSW 州地方消防隊、
ACT 消防庁、ACT 地方消防隊**

詳しくは、地元の消防署か消防センターにお問い合わせいただくか、
ウェブサイトをご覧ください：www.fire.nsw.gov.au www.rfs.nsw.gov.au www.esa.act.gov.au

火災に関する安全情報

- 火災から出る煙はあなたを混乱させるということと煙の中では何も見えないということ覚えておきましょう。
- 自宅の火事から逃れることができたなら、絶対に中へ戻らずに000へ通報してください。
- 子どもたちに火災避難計画を設計させ、火災避難訓練を行なう前に練習させましょう。
- 家族に耳や歩行の障害を持つ人がいる場合、必ずそのことを考慮に入れ、補助を担当する人を決めておきましょう。
- 家庭の火災安全は家族全員にとって重要であり、準備しておけば惨事を逃れることができるということ覚えておきましょう。

緊急時には000をダイヤルしてください